

# PC導入からペーパーレスの取り組みについて (介護記録編)

社会福祉法人みやこ老人ホーム  
みやこの苑デイサービスセンター  
管理者 片本 哲匡

みやこの苑 PC 導入からペーパーレスの取り組みについて (介護記録編)

●デイサービス職員

60 歳～55 歳	5 人
54 歳～50 歳	2 人
49 歳～45 歳	4 人
44 歳～40 歳	1 人
29 歳～25 歳	1 人
合計 13 名	

・男 3 人  
女 10 人  
・最年長 60 歳  
最年少 25 歳  
※平均年齢 52.5 歳

1964 年 昭和 39 年 53 歳  
東京オリンピック、お座敷小唄  
1983 年 昭和 58 年 34 歳 (※19 歳)  
東京 DR 開園 グリコ森永事件  
金曜日の妻たちへ、おしん

●グループホーム職員

70 歳～65 歳	1 人
64 歳～60 歳	2 人
59 歳～55 歳	2 人
54 歳～50 歳	1 人
49 歳～45 歳	1 人
合計 7 名	

・男 0 人  
女 7 人  
・最年長 70 歳  
最年少 46 歳  
※平均年齢 57 歳

1960 年 昭和 35 年 57 歳  
カラーテレビ放送開始、スーダラ節  
1978 年 昭和 53 年 39 歳 (※18 歳)  
成田空港開港、オイルショック  
ザ・ベストテン、UFO

■経緯

当初は、介護保険の請求やケアプラン作成などをメインに、介護ソフトを導入。  
その後、2011 年のソフトのバージョンアップを機に、記録のシステム化を進めていく。

## ■取り組み内容

- ・ペーパーレス化・・・紙での記録物が多い業界。

システム化をする上で一番念頭に置いたのがペーパーレス化。

紙での記録物をなくすことだけを考えれば、Excelなどのソフトを用いて記録をしていくことも可能。ただ、記録のフォームを作成し、キーボード中心の記録入力では、現場の職員の負担も大きく、うまくいきません。介護ソフトの記録では、必要に応じた様々な入力画面や方法があり、便利でした。

次に記録のシステム化を進めていく上で一番の課題は、『手書き』から『パソコン』での入力に変わる部分での職員の抵抗感です。パソコンに不慣れな職員も多い中、この点をいかにクリアしていくかが大きな鍵です。その点、導入していたソフトはマウスでの入力箇所や選択式で選んで入力する部分が多いことなど、パソコンが不慣れでも入力できる箇所が多いので、比較的スムーズに進みました。

また、率先してリーダーや管理職がシステムでの記録入力を覚え、他の職員に伝達していき、慣れるまでには時間がかかりましたが、慣れてしまえば、便利さを他の職員も受け入れ、記録のシステム化に取り組んでいくことができました。

## ■取り組み結果

記録のシステム化で得たものは、時間的な余裕です。日々の記録入力の中で、手書きであれば何度も転記をしていた項目が、システムでは転記をせずにボタンを押すだけで別の記録物へ展開ができます。

また、デイサービスの連絡帳なども時間をかけずに出来上がる点も大きな魅力です。

確かに慣れた『手書き』の方が楽な部分もあります。ただ、一度システムの利便性を感じたら、もう『手書き』に戻ることは考えられません。

今後は、さらに記録の中のデータの分析なども進め、稼働率アップや満足度の向上など記録データの活用の部分にも取り組んでいく予定です。

## ■最後に・・・マイナス思考からプラス思考へ

### マイナス思考

- ・パソコンを 使わず持たずが 昭和主義
- ・やらずして 出来ないだろう 止めところ

### プラス思考

- ・サポートセンター 何度聞いても 怒らない
- ・パソコンは 夢と希望の 扉開け